

# 晴耕雨読 41

発行:株式会社 建設プロジェクトセンター  
建設コンサルタント・補償コンサルタント・測量業登録  
〒869-1234  
熊本県菊池郡大津町引水215-1(技術研究所)  
本社:熊本市/八代支店/合志営業所  
TEL:096-293-4400/FAX:096-293-4885  
E-mail:kenpro@muc.biglobe.ne.jp

Vol. 41 JUN 2016 seikoudoku

**明けましておめでとうございます**  
謹んで新春のお喜びを申し上げます  
今年も幸多き一年となりますよう心より  
お祈り申し上げます。

**28年申**

## 全て手作りの門松で年越し準備

門松はお正月を迎えるにあたり、門や玄関に飾られますが、正月にはこの松を目印として「年神」が降りてき、今年一年の幸福もたらすとされています。昔は家ごとに近くの山に竹を取りに行ったのですが、今年の大掃除もひと段落した午後、社長が山へ竹を切りに行った事から、門松造りが始まりました。身も心もキレイにし、新年の決意を忘れず28年度も建7口精一杯頑張ります!!T/B



●立野のニッココ饅頭  
●宇土のくろ饅頭  
●おふるの饅頭



**啐**

阿蘇北外輪山の波多辺八里と古くから呼ばれる古道に70番目の馬頭観音が祀られていました。

## 正月3日南阿蘇外輪山の冠岳に登る

正月3日、冬山を歩きたくなり、おにぎり2個をリュックに入れ南阿蘇外輪山の冠岳に登りました。起伏の少ない道のりだが、左写真の様に両サイドは樹木で囲まれ風景が見えませんが、今年も我道を行くが如し?H/N



## 初めての雪～人生初の雪体験～

東アフリカから熊本大学医学部に留学中のマックとドーリンとの間に生まれたジュネールちゃんの面倒を見るため、マックのお母さんが昨年10月から3ヶ月間来日。帰国前の思い出にと阿蘇山へ出かけた日は人生初の雪体験となりました(笑)H/N



## 下記〇内の四字熟語「啐啄同機」

## 身近な農を楽しむ

### 農を楽しむ、そして食を楽しむ

12月に入り、農園では里芋・ゴボウ・パプリカの収穫をし、正月用の里芋GET(^\_^)ゴボウは軟くて美味しかったと好評でした!!12月の末には恒例の餅つきでお餅をGET(^\_^)お正月と言えば、子どもの頃は好きではなかった雑煮が最近では、美味しくてたまらなくなってきた私ですが、お雑煮は各家庭というか、地域により全然違います。私はお義母さんが群馬出身という事もあり、鳥でだしを取り、醤油で味付けをした雑煮を作ります。農園でGETした野菜と餅つきでGETした杵つき餅を美味しく頂きました★★★T/B



## 身近な土木文化を楽しむ

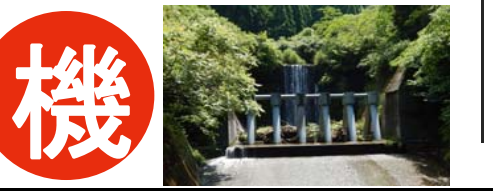
### 桁違いの高速道オーバークリッジ点検に挑む

昨年未だに高速道路に架かる跨高速道路橋(以下0.Vと表記)の点検に携わらせていただきました。私個人としては、国道、県道、市町村道の橋梁点検の経験はありましたが、0.Vの点検は初めての経験でした。一般国道等とは、交通量、通行スピードが桁違いに違い、点検中は一般橋梁以上に緊張感を持って行う必要がありました。今回の対象橋梁は適切に維持管理されており、致命的な損傷は見られませんでした。第一に利用者の安全確保、点検をするまでの交通規制、点検中の安全管理等通常では経験できないような体験ができました。この体験を他のインフラ施設の点検に生かしていきたいと思ひます。K/N



### 「砂組」にチャレンジ

山間部の溪流で見られる砂防ダム(砂防堰堤)は、コンクリートや石材の壁を作り、上部中央に越流部を設ける不透過型と、本体に開口部を設け鋼管柱などで土石流を補足する透過型(スリットダム)などの形式があります。近年、老朽化が進む透過型ダムの延命化として、天端幅の狭い施設を腹付けして増厚する補強工事や、本体に切れ込みを入れて透過型に近い機能を持たせるスリット化など、既存設備の有効活用が行われています。「砂組」とは砂防が好きな人や砂防技術者を指す良い言葉です。K/S



●後記: 熊本県内には、スケッチや写真に残したい風景や美味しい・懐かしい郷土料理等があります。まだまだ、気をつけて見るとビューポイントや歴史の重みを感じる文化的景観などの資源が沢山残されています。今後も皆さんへ地域の良さや文化などを紹介していきたいと考えており、この晴耕雨読は11名の投稿者の協力を得て作成しました。

「啐啄同機」は、卵から雛が孵る時、内側から殻をつつく雛と外側から親鳥が殻をつつくタイミングが絶妙である事をたとえとした言葉で、親や教師がタイミング良く支援や指導(自立)をする事が、卵の殻を割って成長する事につながる、という意味合いです。

## 日本の和食が世界無形文化遺産登録 熊本の阿蘇が世界農業遺産登録 Rural environment

### 関東地方の「のし餅」

平成28年度は17年ぶりに初日の出を拝みました。帰宅後、関東地方の方に正月の餅は「のし餅」だと聞いて送って頂いたもので、さっそく箱を開けてみました…。「あ〜そういう事かあ〜」(=;)「切れてない…」 「安心して下さい。ちゃんと切りましたよ!!」 外袋の線に沿って切る作業からスタート。雑煮・きな粉餅・磯辺餅など美味しく頂きました。T/B



### 新嘗米に米を献上

菊池郡大津町から77年ぶりに「献穀献納式」で納める米を収穫することとなりました。写真はその時の献穀米の一部を頂いたものです。T/B



### どんどこや

1月10日に「どんどこや」に参加してきました。毎年、年男と年女が火付け隊となります。今年も天気も良く、どんどこやの後のおしゃべり焼き芋までおいしく頂いて帰りました。T/B



## 空からの調査業務開始! 調査に活用しては如何ですか? Civil Engineering

### 天草琴北町の復旧事業に思う

近年、異常気象による集中豪雨や台風等に伴う土砂災害が各地で多発しています。私は県内の災害復旧事業に携わり、道路路面等の被災要因や復旧工法を判断する過程で、机上では判断できない所を現地で判断し、早急に対策を選定するベテラン技術者の判断力がいかに重要であるかを再認識しました。私達の身近にある道路は、日常生活に欠かすことのできない社会資本であり、多面的な機能を有する等、様々な用途に利用されていますが、老朽化している道路施設が日々増加してきています。今後は、道路等の維持管理面への対応に加え、このようなハード面の災害復旧対策のみでなく、ソフト面の避難体制整備、避難所確立等のハード・ソフトの施策を適切に組み合わせた防災・減災対策も重要と考えます。T/M

### 熊本の鋼橋(No.5)~鋼は優れた素材~

鋼は、錆なければ永遠に劣化しない優れた素材です。たたら製鉄法で作った法隆寺の釘は1300年も錆びていないし、製造後236年経過するイギリスのアイアンブリッジは、産業革命時代に造られた世界最古の鉄橋で、現在でも歩道橋として立派に役に立っています。最近では新設鋼構造物が減少しているため、目立たなくなりましたが、身近なところでは天草の天門橋や5号橋、関門橋などの大型橋梁などでは、なくてはならない技術です。熊本県内にも球磨川第一橋梁(107歳/右写真)、第一白川橋梁(87歳)、立野橋梁(87歳)など優れた維持管理により現役で活躍している鋼橋があります。鋼橋だけでなく、水門・鋼製浮橋・鋼製パイルベント・鉄塔など長寿命化維持管理をしなければならない鋼構造物が身近に多くあります。鋼の設計・加工・現地据付技術を次の時代を担う若者へ確実にパトタッチする必要があります。N/S



●今年も天気も良く暖かった事もあり、様々な場所からの初日の出が届きました。

## 身近な環境を楽しむ

### 阿蘇特有の野草堆肥に善玉菌

皆様は元日の熊日1面の「阿蘇の野草堆肥に善玉菌」を目にされたでしょうか。善玉コレステロールの気になる世代としては、野草ロールの善玉菌に目が止まりました。上手いタイトルに関心・感心でした。さらに、その「拮抗菌」なる善玉菌は阿蘇特有の新種の可能性も高いと評され、「野菜の病気を抑え、肥えた土壌を作る善玉菌が大量に含まれている」ようで、何世代も受け継いでこられた農家の経験則にスゴカと感嘆、阿蘇の自然力にもスゴカを送りたい。観光的商品開発者も既に「野草ロールケーキ」なるものを考案しているのではなかろうか?コレステロールの気になる方は、悪玉となるかもしれませんね!A/T



### 和の心 ここにあり... 「ワビサビのすばらしさ」に思う

盆栽には四季を通じて自然が織りなす美しい変化や生命の鼓動を感じることができます。盆栽は、松に始まり松に終わると言われ、そして盆栽は足元で見るとも言います。小さな鉢の中にあっても木の根張り・ふんばり・曲がり等木の太さや大地をつかむ逞しさと古木等樹齢を感じさせる崇高な華厳さが求められて、わびさびの世界に通じるものがあります。また草木の枝ぶり・葉姿・幹の肌・根及び鉢も含め姿・形全体を自然の風景を模して創るなど、制作者の心を映すオリジナルの世界です。近年、ヨーロッパやアメリカ等でも盆栽に人気が出ていますが、これも自然豊かな環境に育った日本人らしい独特な感性と和の心による草木に関する作品として理解されてきたからではないでしょうか。益々、世界的な文化交流が進むことを期待します。B/I



### 波佐見町のレンガ橋と白百合

百合の葉の殻を石橋のそばによく見かけます。夏に白い花が咲いていたあたりに、冬行くと見かける事があります。下の写真は、波佐見町中尾郷レンガ橋の右端に咲いていた白百合の写真です。種が飛び立って空き屋になった頃、我が家の花瓶へ引っ越し願いました。底のほうに残っている種は、途中の草原に蒔きます。M/T



### 里山とくらし

吉無田高原の2016年1月1日の朝日と草原風景です。最近「里山資本主義」藻谷浩介・NHK広島取材班を読みました。東日本大震災以降、人々の意識と経済が里山を中心に動き出していると言います。収入は少ないが、豊かな生活、水と食料と火があり、災害時も生きていける。それが里山の素晴らしさです。T/M



●後記: 熊本県内には、スケッチや写真に残したい風景や美味しい・懐かしい郷土料理等があります。まだまだ、気をつけて見るとビューポイントや歴史の重みを感じる文化的景観などの資源が沢山残されています。今後も皆さんへ地域の良さや文化などを紹介していきたいと考えており、この晴耕雨読は11名の投稿者の協力を得て作成しました。

